

議会だより



かわ はら えつ じん

河原 悦人 (1898-1985)

明治31年磯部村に生まれる。京都絵画専門学校（現、京都市立芸大）を卒業。京都市伏見区に居を構え、日本画家として堂本印象^{どうもといんしょう}に師事し、堂本主宰の画塾「東丘社」^{とうきゅうしゃ}の幹事を永年にわたり勤める。文展・帝展・日展、院展に合わせて計36回出品し、東丘社展には毎年出品しました。昭和6年12月から制作した「古事記絵巻」全21点は磯部郷土資料館が所蔵しています。

志摩の人物史⑨

主な内容

第4回定例会のあらまし

補正予算の内容	2 ページ
常任委員会の審査結果	4 ページ
審議した案件と結果	7 ページ
一般質問 市政のここを聞く!	8 ページ
こんにちは志摩びとさん	14 ページ
議会のうごき	14 ページ

一般会計補正予算 5億3398万円を可決

12月17日に議長を除く全議員により予算特別委員会を開催し、提案された一般会計、特別会計（5会計）および企業会計（2会計）の補正予算について審査しました。（委員長上村繁子・副委員長 濱口三代和）

その結果、平成24年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ5億3398万円を追加し、予算総額255億7773万円となりました。

一般会計 主な補正予算 ※△は減額です。

・市民交流推進事業費	100万円
・国民健康保険特別会計繰出金	1606万円
・障害者自立支援給付事業	3757万円
・介護保険特別会計繰出金	182万円
・子ども手当事務費	110万円
・扶助費	2億4590万円
・予防接種事業費	621万円
・休日夜間応急診療所費	105万円
・病院事業会計負担金	2億円
・水産振興補助金	322万円
・観光施設整備費	2217万円
・道路維持費	350万円
・道路整備交付金事業費	△2900万円
・下水道事業特別会計繰出金	△1105万円
・消防団活動費	393万円

平成24年第4回定例会

平成24年第4回定例会を11月30日から12月21日まで22日間の会期で行いました。
この議会では平成24年度一般会計、特別会計および企業会計の補正予算をはじめ、条例の制定8件、一部改正7件、指定管理者の指定など合計32議案を可決しました。また、一般質問では6人が活発な議論を展開しました。

12月補正予算(全体)

			補正前(円)	補正後(円)	補正額(円)
一般会計			250億4375万	255億7773万	5億3398万
特別会計	国民健康保険		75億7445万	75億9051万	1606万
	後期高齢者医療		11億6234万	11億6265万	31万
	介護保険		56億7863万	56億9265万	1402万
	住宅新築資金等貸付事業		1089万	1115万	26万
	下水道事業		5億 237万	5億 66万	△171万
企業会計	水道事業	収益的支出	15億6586万	16億5543万	8957万
		資本的支出	9億2752万	9億3400万	648万
	市立国民健康保険病院事業	収益的支出	16億7654万	16億4528万	△3126万

市民交流推進事業費

高額な寄附があったため、ふるさと応援基金に積み立てます。

障害者自立支援給付事業

単価改正や利用料の増加に伴い公費負担が増えたことによる増額です。

子ども手当事務費

23年度実績に基づく県負担金返還金確定による増額です。

扶助費

生活保護受給者および医療扶助の増加に伴う実績および23年度実績に基づく国庫負担金返還金確定による増額です。

予防接種事業費

法改正による定期予防接種の種類変更および単価改正による増額です。

休日夜間応急診療所費

昨年度実績から、現在のインフルエンザ薬在庫量では不足が予想されるための増額です。

水産振興補助金

東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、英虞湾内で被災した個人所有の定置網について、今後は三重外湾漁業協同組合が定置網を取得・設置し、自営で事業を行うことに對しての補助金、および、県が推進する南部地域活性化基金を活用し、副収入対策として三重外湾漁業協同組合が行う耕作放棄地を利用した漁業の担い手育成事業に対する補助金です。

観光施設整備費

大王崎観光駐車場整備に伴う用地購入費、看板の修繕料、登記関係経費としての計上です。

道路維持費

台風などの被害に伴う修繕箇所増加による道路維持工事費と道路補修原材料費の増額です。

道路整備交付金事業費

国費配分の減額により、鶴方立神線道路整備工事費を減額します。

消防団活動費

台風17号をはじめ、風水害や行方不明者捜索など消防団員の出勤機会が増加したことに伴う一般経費、報酬等経費の増額、および、消防自動車可搬ポンプの老朽化による修繕が必要なための増額です。



火葬場建設事業 工事請負契約締結を可決



完成予想図

磯部町三ヶ所地内に計画している志摩市火葬場建設にかかる請負契約の締結について、建築工事・電気設備工事・機械設備工事を下記のとおり可決しました。

それぞれの工事の工期は、平成26年3月20日です。

契約の目的	契約金額	契約の相手方
建築工事	5億8600万円	石吉・坂下特定建設工事共同企業体
電気設備工事	1億8182万円	トーエネック・山川特定建設工事共同企業体
機械設備工事	1億5129万円	日本ファシリオ・出馬電機特定建設工事共同企業体

から

— 付託案件・主な質疑 —



・18日に教育民生常任委員会（委員長 小河光昭、副委員長 谷口 寛）、
を開会し、各委員会に付託された案件について、それぞれ審査しました。

総務財政常任委員会（6件）

- 男女共同参画推進条例の制定について（賛成全員）
男女が個人としての能力と個性を生かしながら、自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画し、お互いに思いやりをもって支え合い、責任を分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すために制定。
- コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について . . .（賛成全員）
布施田コミュニティセンターおよび山田コミュニティセンターの整備に伴う一部改正。
- 指定管理者の指定について（うらじろ集会所）（賛成全員）
- 指定管理者の指定について（迫子コミュニティセンター大崎会館）（賛成多数）
- 指定管理者の指定について（桧山路生涯学習センター）（賛成全員）
- 指定管理者の指定について（塩屋生涯学習センター）（賛成多数）
平成22年4月からの指定管理期間満了に伴い、引き続き各地区の自治会が平成25年4月から平成28年3月まで指定管理する。

施設名	所在地	指定管理者となる団体
うらじろ集会所	阿児町神明1141番地3	神明自治会
迫子コミュニティセンター大崎会館	浜島町迫子2594番地10	大崎自治会
桧山路生活学習センター	磯部町桧山路96番地2	桧山路区
塩屋生活学習センター	浜島町塩屋200番地	塩屋地区自治会

— 主な質疑 —

伊東りき
男女共同参
画推進条例
前文で紹介

問 条例に特定の個人の
名前を載せるには、そ
れなりの理由があるの
か。

答 伊東りきは、『志摩
町史』や『三重の女性
史』でも紹介されてい
る、志摩町片田出身の
方です。明治22年に24
歳で単身アメリカへ渡
り、サンタバーバラで、
日本人の助産婦の一号
と伝えられています。
志摩市男女共同参画
推進懇話会委員から志
摩らしさや特色を生か
して条例を作りたいと
いう意見がありました。
それには、伊東りきの
紹介が良いであろうと
いう多くの意見をいた
だき、前文に取り上げ
ました。

山田地区に
新コミュニティ
センター建設

問 山田地区には他にも
集会所があるので、

答 地域改善事業で建て
た山田集会所と区が自
費で建てた山田公民館
があります。規模が
小さく、区事務所と区
民全員が会する際は、
地元のお寺を利用して
います。

問 新センターと地域改
善事業の集会所が市の
施設ですが、新センタ
ーが建つなら、一カ所
で良いのでは。

答 規模的に集会所は小
さく、目的・用途が違
います。新センターは、
一般の市民の皆さんも
広く、多用途に利用で
きる施設となっていま
す。今後も、並行して
市の施設として、それ
ぞれの目的に応じて利
用していくことを考え
ています。



常任委員会の審査

12月12日に総務財政委員会（委員長 森 昶、副委員長 高岡英史）、13日
14日に産業建設常任委員会（委員長 杉本三八一、副委員長 福田和義）

教育民生常任委員会（5件）

- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定について・・・（賛成全員）
「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（以下、地域主権一括法）」による介護保険法などの一部改正に伴い、指定地域密着型サービスについて、人員、設備および運営に係る基準を地域の実情に合わせて定めるために制定。
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について・・・（賛成全員）
地域主権一括法による介護保険法などの一部改正に伴い、介護予防サービスについて、人員、設備および運営に係る基準および介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準を地域の実情に合わせて定めるために制定。
- 幼稚園条例の一部改正について・・・・・・・・（賛成全員）
休園中の浜島幼稚園追塩分園および船越幼稚園を条例から削除し、閉園とするための一部改正。
- 社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について・・・・・・・・（継続審査）
志摩広域消防組合消防本部等整備事業の実施に伴い、長沢多目的広場を削除し、今年度末に廃校となる船越中学校のグラウンドを志摩市船越社会体育グラウンドとして追加するための一部改正。
- 指定管理者の指定について（志摩総合スポーツ公園、志摩B＆G海洋センター）・・・（賛成全員）
志摩スポーツクラブが平成25年4月から平成28年3月まで指定管理する。

施設名	所在地	指定管理者となる団体
志摩総合スポーツ公園	志摩町布施田1103番地	志摩スポーツクラブ
志摩B＆G海洋センター	志摩町布施田1101番地	

社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について は継続審査としました

審査をしたところ、内容に不明瞭な点があり、議会への説明が十分になされないため、その重要性により、なお審査検討を要するとして、今委員会での採決は行わず継続審査としました。

継続審査：提案された本会議の会期中には結論を出すことができない場合に、議会の議決によって、会期が終了した閉会後も引き続いて委員会で審査・調査を行うことです。

— 主な質疑 —

問

長沢多目的グラウンドを造つた目的があると思う。何かが決まったから「あそこが丁度いいそこへ持つていこう」ということで良いのか。

答

スポーツ施設を潰すことは本心に苦しいですが、市民の生命・財産を守る施設、砦として消防署を造りたいと考えます。

問

当初からグラウンドデザインを示して説明すべきだと言っているが「道広げた」「グラウンドを代替える」ということが先走り、どういうかたちにしていくのか説明がされていない。

答

約1万4千㎡の内、消防署は3分の2にあたるという絵を書いています。残りの3分の1は東海幼稚園ですが、甲賀口に民間保育所ができるため、しばらく現状のとおり公園として残していきたいと考えています。

※本案件は12月21日に撤回されましたので、今後の継続審査は行いません。

◆撤回…案件の提出後、その案件の全部を取り下げることに

産業建設常任委員会（6件）

- 大王崎観光駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について・・・・・・（賛成全員）
大王崎灯台を訪れる観光客のための大型バス駐車スペースの確保のため、波切水産加工業協同組合が運営している駐車場を市が購入し、運営するために制定。
- 道路構造の技術的基準等を定める条例の制定について・・・・・・（賛成全員）
地域主権一括法による道路法の一部改正に伴い、市が管理する道路の構造の技術的基準について政令を参酌し、管理上必要とされる一般的な技術的基準を新しく定めるために制定。
- 準用河川管理施設等の構造の技術的基準等を定める条例の制定について・・・・（賛成全員）
地域主権一括法による河川法の一部改正に伴い、市が管理する準用河川の構造の技術的基準について政令を参酌し、管理上必要とされる一般的な技術的基準を新しく定めるために制定。
- 布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について・・・・（賛成全員）
地域主権一括法による水道法の一部改正に伴い、布設工事監督者と水道技術管理者の資格基準を定めるために制定。
- 公共下水道の構造等の基準を定める条例の制定について・・・・・・（賛成全員）
地域主権一括法による下水道法の一部改正に伴い、公共下水道の構造、維持管理の基準を市の現状に合わせて定めるために制定。
- 都市公園条例の一部改正について・・・・・・（賛成多数）
地域主権一括法による都市公園法の一部改正に伴い、都市公園および特定公園施設の設置基準について定めるための一部改正。

— 主 な 質 疑 —

**大王崎周辺の
グランドデザインは**

問 観光スポットの1つだと思ふ。駐車場を整備するだけでは、従来と何も変わらない。周辺も含めたグランドデザイン、観光振興策はないのか。

答 大王崎一帯のグランドデザインの考えをしつかり持つて集客に努めます。駐車場を市が運営することで、灯台などの観光PRに更に力を入れていきたいと考えています。

**道路構造の技術的基準
新たな予算は必要か**

問 現道改良などに予算が必要になるのか。

答 道路の新設も道路構造令適用の道路は補助対象の道路が原則で、市単独事業の道路は適用外です。

**河川法が適用されない
普通河川の見直しは**

問 磯部町には河川法の適用されない普通河川が何十本もある。もう一度、普通河川・準用河川の見直しが必要ではないか。

答 普通河川は、浜島29本、阿児31本、磯部59本。距離は約76kmです。平成16年までに国から譲与されてから市で日常管理と権利関係の管理を行っています。

準用河川、普通河川（法定外公共物の水路含む）が指定されたのは昭和52～53年頃だったと思います。それ以降、家の建ち並びや河川の機能も変わってきていますので、見直しも必要だと考えています。

市長、副市長、教育長

給料を減額！

平成24年10月31日から平成28年10月30日までの間、市長の給料を20%、副市長の給料を5%、教育長の給料を5%減額して支給します。

	減額前の月額	減額割合	減額後の月額
市長	900,000円	20%	720,000円
副市長	700,000円	5%	665,000円
教育長	600,000円	5%	570,000円

議案の審議結果一覧表

	議 案 名	議決結果		
		賛成	反対	
承認第 7 号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度一般会計補正予算(第5号)について)	賛成全員		
議案第90号	男女共同参画推進条例の制定について	賛成全員		
議案第91号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定について	賛成全員		
議案第92号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について	賛成全員		
議案第93号	大王崎観光駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について	賛成全員		
議案第94号	道路構造の技術的基準等を定める条例の制定について	賛成全員		
議案第95号	準用河川管理施設等の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	賛成全員		
議案第96号	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	賛成全員		
議案第97号	公共下水道の構造等の基準を定める条例の制定について	賛成全員		
議案第98号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第99号	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第100号	幼稚園条例の一部改正について	賛成全員		
議案第101号	社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	撤回		
議案第102号	コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第103号	暴力団排除条例の一部改正について	賛成全員		
議案第104号	都市公園条例の一部改正について	賛成全員		
議案第105号	平成24年度一般会計補正予算(第6号)について	賛成多数	19	1
議案第106号	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員		
議案第107号	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数	18	2
議案第108号	平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員		
議案第109号	平成24年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数	19	1
議案第110号	平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員		
議案第111号	平成24年度水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数	17	3
議案第112号	平成24年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員		
議案第113号	指定管理者の指定について(うらじろ集会所)	賛成全員		
議案第114号	指定管理者の指定について(迫子コミュニティセンター大崎会館)	賛成全員		
議案第115号	指定管理者の指定について(桧山路生涯学習センター)	賛成全員		
議案第116号	指定管理者の指定について(塩屋生涯学習センター)	賛成全員		
議案第117号	指定管理者の指定について(志摩総合スポーツ公園、志摩B&G海洋センター)	賛成全員		
議案第118号	工事請負契約の締結について(火葬場建設事業 建築工事)	賛成全員		
議案第119号	工事請負契約の締結について(火葬場建設事業 電気設備工事)	賛成全員		
議案第120号	工事請負契約の締結について(火葬場建設事業 機械設備工事)	賛成全員		
選挙第 8 号	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	賛成全員		

選 挙

選挙管理委員および同補充員に、それぞれ次の方々が決まりました。
(敬称略)

選挙管理委員	西村 仁 (阿児町)	同補充員	井上 司 (浜島町)
	濱岡 宏俊 (大王町)		城山とし子 (阿児町)
	羽根ゆた子 (磯部町)		西 和久 (磯部町)
	平賀みよの (志摩町)		濱口 敏久 (大王町)

子育て支援の 推進へ



中川 弘 幸
議員

市政のつぎを聞け！

6 議員が一般質問

問 先の通常国会で「子ども子育て関連3法」が成立した。子育て環境の充実を図ることを目的としているが、具体的な制度運用は、市が重要な役割を担う。平成27年度施行に向けての取り組み、明年度予算の確保など、国の動向を見ながらできる限り、円滑かつ速やかに新制度が導入できるように、万全の準備が必要であると考えるがどうか。

市長 子ども子育て関連3法は、安心して子どもを生み、育てることのできる社会の実現に、社会全体で取り組まなければならない重要な課題であり、認定子ども園制度の改善など、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども子

育て支援の充実を目指します。

この新たな事業計画は、消費税率引き上げによる、国および地方の恒久財源の確保が前提となつていするため、国の動向を見極めながら推進していきたい。

健康福祉部長 ニーズ調査の実施経費、子ども子育て支援事業計画の策定経費については、国の政局の動きを見極めながら必要な時期を見ながら計上を行ないたい。

住宅改修・福祉用具購入での受領委任払いの導入を

問 介護保険制度の中で、福祉用具購入費および住宅改修費について本市は償還払いのみの運用だが受領委任払いを導入する考えはないか。

市長 負担は、初めから1割分であるほうが利用者にとっては使いやすいと考えます。導入については、検討していきたい。

公共施設のLED照明化へ

問 省エネ対策と財政負担軽減のため、リース方式による公共施設へのLED照明の導入する考えはないか。

市長 リース方式により、全ての防犯灯をLED化した場合は、全国の事例を見ると1灯当たりの設置経費が抑えられるが、LED防犯灯は、現状では部品交換できるものが少なく、10年に一度器具一式を交換する必要があるが、今後LEDの普及に伴い、器具の価格低下



「小型家電リサイクル法」の 成立に向けて

も予想されます。

さらに、修繕などに関して、市内の事業者への委託業務がなくなりますので、メリット・デメリットを総合的に判断しながら検討していく必要がある。

問 携帯電話やデジタルカメラなどの使用済みの小型家電に含まれる、アルミニウム、貴金属、レアメタルなど、小型家電については、本市にあつては、資源ではなく不燃ごみ、燃やせないごみとなつているので、小型家電リサイクル法施行に向けて、回収・リサイクル推進への取り組みをしてはどうか。

市長 小型家電のみの回収の取り組みについては、他の自治体の動向を参考にしながら、今後検討していきたい。



さいたまエコ・センター

「市の防災・減災対策事業」 をスピードアップ加速すべき



森 昶
議員

問 市長公約の柱である「防災・減災対策の環境整備事業」の現状と進捗状況を問う。

市長 行政内部については、今年度、志摩市防災対策等推進委員会設置要綱を制定し、今後、全庁的な防災対策についての協議を進めます。小地域の支え合いづくりを進めて、地域の福祉力、防災力の強化を図ります。また、地域防災力向上のために、自主防災リーダーの養成研修会を継続的に実施します。

環境整備計画の概要は、今年度にハザードマップを作成する。避難案内看板・誘導案内板の設置を行う。避難路は、現地確認して順次整備を行い、新・避難路の発掘は、タウンウォッチングの中で確認したい。浜島地区の津波避難タワーの整備と、国府地区に防災倉庫を兼ねた避難施設の建設を行います。避難が困難な地域には、造成場所の選定を含め、「命山の造成」の

検討を行います。公共施設はもちろん、観光協会などを通じて、民間の市内宿泊施設の避難所活用を働きかけたい。自助・共助の実践力向上の為に、防災技術指導員を引き続き設置し、市民啓発に力を入れます。保護者や地域の方々から要望のあった、阿児町東部地区の沿岸低地に位置する小学校を、環境整備の重要施策として、仮称「東海小学校」の高台へ新築移転する方向で、早い段階で取



畔名地区津波避難タワー



海拔5mにある甲賀小学校

問 即戦力となり組みます。なる「防災隣組」の仕組みを構築し、自助・近助・共助・公助の形を、防災減災対策手段として自主防災組織をつくる考えはないか。また、防災備品、資材などの在庫管理や運用体制は万

全か。

総務部長

「防災隣組」「近助」の事は、自治会連合会で相談、協議します。備品、資材などの管理、有効活用は、避難所などの見直し後に、災害時に有効活用できるよう、避難所などへ分散した備蓄も考えています。管理にも万全を期したい。

市長公約 「更なる財政健全化の 継続と進展」 のステップは

問 見直しを行う「財政健全化アクションプログラム」の作業進捗状況と行政・市民が一体となつて行財政改革を討議して、まちづくりを検討する「志摩市財政健全化会議」の概要を問う。「志摩市観光振興基本計画」の策定はいつになるか。

市長 1年度前倒しして、25年度から取り組んでいきます。行政と市民の協働で「篠山再生計画」を策定し、成果を上げていく篠山市の財政健全化への取り組みを参考に「志摩市財政健全化会議」を新年度設置に向け検討している。「観光振興基本計画」は、本年度中の完成予定で、5年間の計画で、目標年度は平成29年度、毎年度点検、3年目が見直し年度です。

平成25年度予算編成方法と 行財政改革について問う



山 際 優
議員

問 25年度予算編成方法と行財政改革について問う。

市長 平成18年度から人件費、扶助費、公債費などの義務的経費を除いたすべての事務事業を枠配分の対象とした「枠配分方式」を採用していましたが、平成25年度以降の予算編成については、施設の統廃合や火葬場、給食センターの施設整備に係る負担金など、大型公共事業が組み込まれ、それらを含めた政策的、投資的経費を適切に各部署へ配分することが難しくなってきたことや、部局単位での査定より、市全体の中で各事業を査定したほうが、効果的な優先順位づけができることなどから、新規のソフト事業および投資的経費を枠配分から除き、一件査定することとしました。

一件査定では事業の緊急性、必要性、後年度の財政負担等を考慮し査定します。

問 兵庫県篠山市の行財

政改革の方策について、視察研修された副市長の感想を聞く。

副市長 本年5月に財政課職員と篠山市を訪問し、話を聞き、大いに参考になる改革の方策が示されていると感じました。特に、市民の目線から財政再建を果たすために、篠山再生市民会議を設立し、計画を取りまとめた点です。当市の財政健全化アクションプログラムの見直し作業の参考にしたいです。



放流用稚アワビ

稼げる里海創生 アワビの放流事業について問う

問 アワビの放流数を増やすために、海女さんたちがアワビの購入を計画した場合、市は補助金の増額をするか。

市長 安定して稼げる里海を実現するためには、管理型漁業を推進することが必要です。

中でも、種苗放流は、重要なツールであると考え、平成25年度予算において、

具体的な取り組みができないか検討しており、補助金の上乗せか、現物支給になるのか、現時点では決定していませんが、予算審議をよろしくお願いしたい。

自転車通学路 の整備について問う

問 学校統合により、平成25年4月から船越塩田岡団地から大王中学校への自転車通学路となる道路は、県の中山間事業で整備されましたが、側溝の蓋は所々であり、車との接触や側溝への転落が心配される。現状を改善する考えはないか。

市長 この農道は現在、市に移管されていません



中山間事業で整備された道路

が、今年度中に県から市に移管される予定で準備が進められており、市に移管された時点で、市道の区域変更を行い、側溝蓋の設置と除草などを含めた維持管理を行っていきます。

※ 他に、浄化槽からの排水基準と防潮扉の管理について質問しました。



坂口 洋
議員

どうなる 市長の公約

問 今回の市長選結果を市長自身どう受け止めているのか。

市長 私が再選を果たせた大きな要因は、まず、これまでの4年間の実績が市民の皆様に評価していただけたものと考えています。2期目の公約で他の候補者の公約に比べより具体的に地域特性を生かした活性化の政策として新しい里海創生によるまちづくりを訴えたこと。その思いが有権者の方々に伝わり、ご理解いただけた結果と感じています。

問 防災リーダーの養成
消防団員の拡充を公約し
ているが、現状をどう捉
えているか。来年度何か
ら始めるのか。

市長 自主防災リーダー研修会を実施し、35名が参加しました。共助の要の防災リーダーの養成を継続的に実施していく考えです。消防団の役割は以前にも増して重要になっており、消防団を取り巻く環境整備を、団員の

安全確保のために進めます。細分化されている分団の統合についても各分団と協議を重ねていきます。

問 消防団詰所などの見直しについての調査・検討の経過について問う。

市長 津波被害が想定される詰所や格納庫について調査を行っており、15

詰所、12格納庫が津波による浸水の恐れがありま
す。今後、分団統合など
も合わせ、高台移転を検
討します。

問 里海学舎は何から始めるのか。

市長 まず、海の生き物を学んだり、自然体験のできる施設が集積している英虞湾域から構築をし



自主防災リーダー研修会

たいと考えています。施設間のネットワーク化を図り、施設横断型の面としての総合的プログラムを考案することで、里海学舎として多くの人に活用される場を提供する取り組みを始めていきます。

問 住宅リフォーム補助による地域の仕事づくりについても、検討の経過について問う。

市長 市独自のリフォーム制度については、財政状況も踏まえて、現在の県からの補助事業により引き続き、昭和56年以前の木造住宅について、耐震診断を受け、耐震補強工事と合わせたリフォーム工事を推進していききたいと考えています。



志摩市のスポーツ振興について

スポーツ都市宣言は



小河光昭
議員

問 任期4年の間にスポーツ都市宣言をするか。

市長 スポーツ都市宣言を視野に入れての志摩市の活性化に努めていきたい。私の任期内、前半ぐらいにはスポーツ都市宣言をしたいと考えています。

問 スポーツ都市宣言に向けての方向性や進め方について考えを問う。

市長 スポーツ都市宣言をするためには、大型スポーツイベントの開催ばかりではなく、各大学などのスポーツ合宿を受け入れる施設などの環境整備も必要であると考えています。

さらに、スポーツ合宿に参加していただいている方々、観光客の方々が気軽に利用できるシステムなどを構築していく必要もあると考えています。

問 スポーツコミッションの立ち上げについて検討をしたか。

市長 スポーツコミッション構想を検討した結果、受け皿となる民間の組織

が必要となつてきますので、引き続き検討していきます。

問 志摩市は、ビーチを生かしたイベントをスポーツ都市宣言にむけて、加えることが必要かと思いますが、ビーチの整備について市長の考えを問う。

市長 海岸清掃についても、きちんとできるような体制も整えていきながら、ビーチを使用したスポーツも、誘致を図っていききたいと思っています。



三重国体に向けての取り組みは



ササユリカップ

問 三重国体に向けての取り組みで、会場希望調査に対する市の対応は。

教育部長 志摩市としては、選定基準の条件を精査した上で、1番目にソフトボール、2番目にゴルフを要望していきたいと考えています。

問 スポーツの専門的な課を設置して、三重国体に向かってスポーツ振興を図っていくことが大事と考えるが市長の考えを問う。

市長 関連部局の中で担当職員を張りつけて、部局をまたがって、くみ上げていきたいと思っています。

新年度予算編成について問う

問 平成25年度の予算編成と財政計画について、

25年度の予算予定見込み額は。また、財政調整基金は崩さない予算編成を行うのか、確認する。

市長 平成25年度の予算編成については、さらなる歳出削減を実施し、昨年度に引き続き、財政調整基金を取り崩さない方針で挑みます。地方税の見込み額は、前年度比約3000万円増の約54億円を見込んでいます。

問 12月補正後の地域振興基金残高、財政調整基金残高、合併特例債合計額は。

市長 地域振興基金残高は、約33億2400万円、財政調整基金残高は、約24億2200万円、合併特例債借入れ総額は、約176億5000万円となります。

「平成23年度決算」の総括と 審査意見について見解は



西崎 甚吾
議員

問 決算の総括と今後の課題をどう捉えているか。

市長 23年度決算は総合的に歳入一般財源が減少し、経常経費が増え過去最高額になったが、投資的経費が大幅に減少したため、財政調整基金を積み増すことができました。これは23年度決算の特徴で、以降は厳しい財政運営が到来すると考えています。

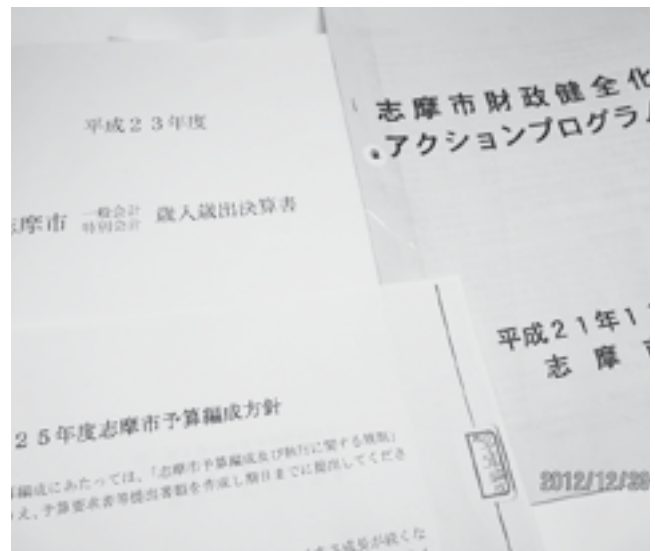
今後の課題は26年度の財政計画の見直しに合わせて、行政・市民が一体となり策定する財政健全化計画が不可欠であり、さらに健全化への取り組みが必要です。

また、監査委員の意見書では23年度の決算に限りて言えば、行財政改革が進んで歳出削減が行われたわけではないと言ったもので、長期的な視点から行財政改革が進んでいないと指摘したのではないということでした。

「財政健全化」を 目指す 予算編成について

問 編成方式が変る25年度予算編成と財政健全化に取り組む予算編成についての考えは。

市長 合併当初の予算編成は、各部署からの要求を一件ずつ審査する査定方式で、18年度からはその年度に見込まれる予算枠をあらかじめ各部署に配分し、その中で予算編成を行う枠配分方式を採用しました。25年度以降は部局単位での査定より市全体から各事業を取捨選択したほうが、効果的な優先順位、位置づけができることから、新規の



ソフト事業や投資的経費を枠配分から除き、一件ごとに査定することとしました。

25年度は例年以上に厳しい予算となりますが、施策の見直しを行い徹底したコスト削減に取り組む視点で事業の精査をします。

また、25年度から「財政健全化アクションプログラム第2版」となる健全化計画の策定に向けて、行政改革推進委員会を拡大し「志摩市財政健全化

会議」の設置を図ります。

問 財政健全化アクションプログラムは、行政だけで作ったものであり、これが市民の理解を得られない要因と思うが、いかがか。

市長 現在のアクションプログラムは行政主導で作りました。次の「財政健全化アクションプログラム第2

版」では、理解をいただくため市民の意見も反映したいと思います。

問 選挙公約で参考にするとした篠山市再生計画の中で「合併時の職員数を25年度には250人減の職員450人に適正化」と「20年10月から実施している職員給与10%引き下げ」この取り組みについて所見は。

市長 極めて参考になる意見ですので胸にとどめておきます。選挙公約に書きましたことは、私の強い決意表明です。



しましは志摩びと

～アトリエ・エレマン・プレザン～ 大王町波切 佐藤 肇さん



志摩市でぴかっとひかる人をご紹介させていただきます。

●志摩市の印象はいかがですか？

初めて登茂山から英虞湾の夕景を見た時、この美しい景色の中で子どもを育てたいと思いました。東京から登茂山にアトリエを移して23年。この透明な光に魅かれて多くの画家が訪れる、日本の「コートダジュール」の印象です。

●最近、気になることはありますか？

国際的な観光地のごみ集積場は観光道路には出ていません。伊勢志摩国立公園は国際的に魅力的な観光地ですが、夕景スポットともやま展望台に行くまでのごみ集積箱の美観は考えて欲しいですね。

●志摩市でお勧めスポット(景色等)があれば教えてください。

西欧からのアトリエ訪問客は年間何名かいらつしやいます。外国人の視線から観光スポットを5つ
①青峰山・正福寺は京都より静かと評判 ②磯部の伊雑宮 ③片田・麦崎の夕景 ④横山からのリアス式風景 ⑤ともやまの日没

●今後の志摩市についてひとことお願いします。

3・11以降、日本の子育て環境は変わりましたが、東京の子育て世代は移動を真剣に考えていますが、どこへ行けばよいか多くの母親が悩んでいます。
志摩市が子育てに適した自然環境の中にあることを発信してください。

※「アトリエ・エレマン・プレザン」…ダウン症の人たちのためのプライベートアトリエ。志摩市と東京都世田谷区の2カ所のアトリエで、ダウン症の人たちによる絵画や銅版画、彫塑などの制作を行っています。
現在、「アトリエ・エレマン・プレザンの宝もの展」が三重県立図書館文学コーナーで開催されています。(平成25年3月10日まで)

議会のうごき

11月	12月	1月
1日 第2回臨時会 全員協議会 議員総会	12日 議会広報特別委員会 15日 正副委員長会議 19日 教育民生常任委員会 協議会 福岡県議会視察来庁 20日 全員協議会 議員総会 27日 議会改革特別委員会 30日 議会運営委員会 第4回定例会	13日 教育民生常任委員会 14日 産業建設常任委員会 17日 予算特別委員会 全員協議会 18日 教育民生常任委員会 19日 議会改革特別委員会 21日 議会運営委員会
	12日 総務財政常任委員会	29日 議会広報研修会 31日 議員研修会
	21日 議会広報特別委員会 28日 長野県千曲市議会視察来庁	9日 議会広報特別委員会 16日 議会改革特別委員会 18日 愛知県日進市議会視察来庁

次回定例会の予定

《開催日時》

平成25年

2月26日～3月27日

《開催場所》

本庁舎 6階 議場・委員会室

※審議内容により変更する場合があります。

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳(朗読)テープによる広報をお届けしています。

編集後記

言葉の解釈は難しい。ある一定の期間を示す用語に「当分の間」がある。法則はあるのだろうか、曖昧で意味を成さないように思う。最近の「近いうち」なども、もし、子どもから聞かれたら、親はどう答えるのだろうか。

今、国も自治体も厳しく、深刻な状況に直面している。国の姿が「地方分権」から「地方主権」へと変わった中、市は「里海創生」に自立の道を求め、動き出そうとしているが、掛け声に終わってほならない。地域経済や財政状況に鑑み、許される時間はそう多くない、大胆な施策を期待したい。

助田 時夫

議会広報特別委員会

委員長 山下 弘
副委員長 助田 時夫
委員 中村 和晃
委員 山際 優
委員 小川 光昭
委員 坂口 洋
委員 杉本 三八一